All for you

ふそう目より情報

SUMMER 2010

FUSO

写真はLKG-FU55VUZ4XV、撮影用特別仕様車

実現、走りと経済性の グレート・バランス。

環境性能、燃費性能、安全技術、快適な走り。スーパーグレートは、すべてに妥協なきバランスを求め、進化の道を走り続けています。そして今、全車に最新の環境技術「BlueTec®テクノロジー」採用の新開発エンジンを搭載し、さらなるクリーン性能と経済性を追求。輸送ビジネスに、大きな真価を発揮します。

適合車

燃費基準達成車

燃費基準達成車認定®
(平成27年度重量車燃費基準達成車)

エコカー減税対象車※

※特装系ODマニュアルトランスミッション車を除く、カーゴ系全車

NEW SUPER GREAT

さらに磨きをかけた燃費性能。 New Engine× INOMAT-Ⅱ

パワフルかつ低燃費な新型エンジンを搭載

日米欧のダイムラー・トラック部門全体で共同開発した新型エンジンを全車に搭載。高効率な燃焼を実現するエンジン構造、最新の燃料噴射システム「X-Pulse」などを採用し、トップクラスの燃費性能・環境性能・動力性能を実現します。

快適運転とベストな省燃費を追求する、2ペダル式の12段INOMAT-Ⅱを標準採用

自動変速による快適運転で、理想の省燃費ドライブを実現する12段INOMAT-Ⅱを新たに標準化。また、安全走行に役立つシフトブレーキダウンも標準装備しました。

※特装系および一部機種を除く

次なる環境性能をその手に。 BlueTec®×DPF

進化した新環境技術「BlueTec®テクノロジー」

平成21年（ポスト新長期）排出ガス規制をクリアするため、最先端の環境技術「BlueTec®テクノロジー」を採用。ディーゼルエンジンをクリーンかつ効率的に活用でき、さらに燃費が高まることでCO_2排出低減にも貢献します。

■クリーン&エコノミーにつながるBlueTec®の採用

排気中のNOxを、尿素水（AdBlue®）を還元剤とする触媒で分解するBlueTec®。その高い環境と燃費性能により、いま世界でも採用が広がっています。

■さらに再生制御式DPFを採用

「BlueTec®テクノロジー」では、BlueTec®に加え、再生制御式DPF（セラミックフィルター）も採用。排気中のPM排出を大幅に低減することが可能です。

AdBlue®、アドブルーは、ドイツ自動車工業会の登録商標です。

事故の発生や被害を抑えるための安全性能。 MDAS -Ⅲ×AMB

運転のリスクを車輌で見張る、三菱ふそう独自のMDAS-Ⅲ

（運転注意力モニター）

高速走行時、運転状態を常にモニターし、注意力低下を警報するMDAS-Ⅲを長尺カーゴに標準装備。また、新たにカーブ路の白線認識精度を向上しました。

■MDAS-Ⅲの作動イメージ

注意力低下警報
操作頻度減少、ゆるい蛇行など

車線逸脱警報
注意力低下、ひどい蛇行（車線逸脱）など

万が一の衝突事故の被害を最小限に抑えるAMB

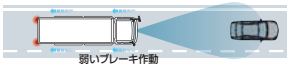
（衝突被害軽減ブレーキ）

走行中にレーダーで前車との車間距離を監視。衝突の恐れがある場合に警告やブレーキ制御を行い、衝突被害を軽減するAMBを長尺カーゴに標準装備。

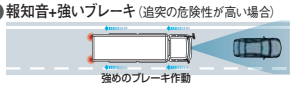
■AMBの作動イメージ

❶警報音（追突の危険性がある場合）

❷報知音+弱いブレーキ（回避操作が行われない場合）



❸報知音+強いブレーキ（追突の危険性が高い場合）



図は説明のため強調されています。

新型スーパーグレートの点検・整備 燃料フィルター

新型スーパーグレートの燃料フィルターは、エンジン上方から点検・整備できるようになり、作業効率が向上しています。つまり、これまでの点検・整備の方法とは異なるため、点検・整備の方法を誤ってしまうと不具合の原因となってしまいます。不具合を避けるためにも、必ず取扱説明書を確認して整備を行ってください。確実な整備を行って、安全な運行を行いましょう。

交換時の注意！

周囲の部品のエッジでケガをしたり、エンジンなどに燃料をこぼして火災を起こしたりする恐れがあります。また、締め付け時のトルクなども定められていますので、点検・整備の際は必ず取扱説明書を確認しながら正確に行いましょう。

07型からの主な変更点

- 燃料・エンジンオイルフィルターをエンジンの上方に移動
- 燃料・エンジンオイル交換時に事前排出作業が不要
- エア抜きが簡単に
- メインとバイパスで分かれていたエンジンオイルフィルターが1つに　など

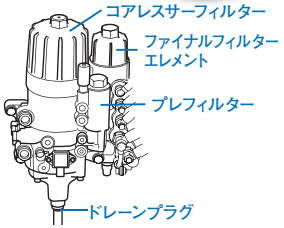
作業効率UP！

燃料フィルターの交換

07型は50,000km 新型は交換サイクルが伸びました！

交換時期：80,000kmまたは1年ごと

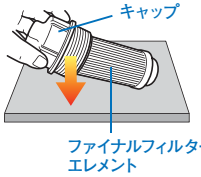
交換方法 ファイナルフィルターエレメント（燃料フィルターエレメント）



1 ファイナルフィルターエレメントのキャップを左に回して緩めて、まっすぐに引き抜き、一緒に取り外します。

ポイント フィルター内の燃料は燃料タンクに排出されるため、受け皿は不要です。

2 キャップをもち、硬い台などの上にファイナルフィルターエレメントを角度をつけて置き、キャップを下向きにして取り外します。



3 ケース内に汚れがある場合はウエスで清掃してから、キャップのO-リングを新品に交換します。

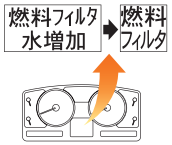
4 新品のファイナルフィルターエレメントをキャップにしっかりとはめ込みます。

ポイント 燃料排出孔がふさがれ、エア抜きが困難になることがありますので、エレメント側のツメをキャップに合わせ確実にはめ込んでください。

5 キャップを「カチッ」と音がするまで左に回してから、規定トルクで右に回して締め付け、ファイナルフィルターエレメントを取り付けます。

忘れずに！ 燃料フィルターの交換には、ファイナルフィルターエレメント以外にも、プレフィルターやコアレスサーフィルターの交換が必要です。詳しくは取扱説明書をご確認ください。

燃料フィルターの水抜き



エンジン回転中、燃料フィルター内に一定以上の水がたまると、多重表示モニター（Ivis）に 燃料フィルタ水増加 と拡大表示され、燃料フィルタ が表示されます。表示を確認したら、速やかにフィルター内の水抜きを行ってください。

1 スタースイッチを“ON”位置にしてから、キャブを上げます。

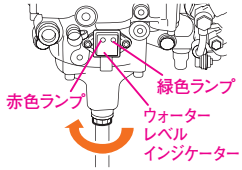
2 燃料フィルターモジュールのドレーンプラグにホース（市販品）を取り付けます。

3 ホースの排出口に受け缶を置きます。

4 ウォーターレベルインジケーターの赤色ランプの点灯を確認します。

5 ドレーンプラグを緩めて、水を排出します。

6 赤色ランプが消灯し、緑色ランプが点灯したら、ドレーンプラグを締め付けます。



7 ホースを取り外し、燃料系統のエア抜きを行います。

8 エンジンを始動して、多重表示モニター（Ivis）の 燃料フィルタ水増加 が拡大表示され、その後、燃料フィルタ が表示されていないことを確認します。また、燃料漏れがないかを確認します。

最後に 燃料系統中のエア抜きをお忘れなく！

燃料フィルターの交換や水抜きを行った場合、燃料系統中にエアが入っているのでエンジンを始動することはできません。必ずエア抜きを行ってください。

1 手動ポンプを押す力が大きくなるまで押してください。（約500回、目安4分程度）

ポイント 押す力が大きくならない場合は、燃料フィルターが確実に取り付けられているか確認してください。

2 スターターを5秒程度回しエンジンを始動します。

ポイント エンジンが始動しない場合は、手動ポンプをさらに押して、スターターを回します。この操作を3回繰り返してもエンジンが始動しない場合は、点検が必要です。

3 エンジンが始動したら、2分間アイドリング回転させ、燃料系統からエアを抜きます。

4 燃料の漏れがないかを確認します。

燃料切れでエンストした場合も同様にエア抜きが必要です。その際、手動ポンプを押す回数は多くなる場合があります。

警告灯を再確認して、安全運転を！

キャンター編

警告灯のマークにはさまざまな種類があるため、すべてを覚えるのは難しいかもしれません。そこで、忘れていないか確認するために、このコーナーでいくつかのマークの表示内容と対処方法についてQ&A方式でご紹介します。警告灯をもう一度見直して、安全運転を行いましょう。

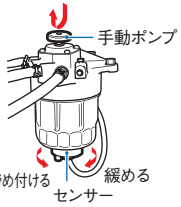
Q このランプが点灯したら・・・？

A 燃料フィルターウォーニングランプ
燃料フィルター内の水が増加したときに点灯します。

点灯したら	すぐに安全で整備ができる場所に停車させてください。
対処方法	燃料フィルターの水抜きを行います。

【水抜き方法】

⚠ 火災を起こす恐れがあるため、必ずエンジンを止め、たばこやライターなどの火気の使用は絶対にやめてください。作業中に燃料をこぼしたら、きれいに拭き取ることも忘れずに。また、走行直後はやけどをする恐れがあるため、燃料フィルターの温度が下がってから、エッジ等でケガをしないように注意して行ってください。



1. 駐車ブレーキが効いていることを確認し、タイヤに輪止めをかけます。
2. 燃料フィルターの下に燃料受け缶を置いてから、センサーを水が出てくるまで左に回して緩めます。
3. 水を排出します。手動ポンプを上下させると早く排出できます。
4. センサーを右に回して、規定トルクで締め付けます。
5. 燃料系統のエア抜きを行います。最後にエンジンを始動し、燃料漏れがないかを点検します。

Q このランプが点灯したら・・・？

A オーバーヒートウォーニングランプ
エンジンがオーバーヒートする恐れがある時に点灯します。

点灯したら	水温計の指針がレッドゾーンを示している場合は、 **すぐに安全な場所にエンジンをかけたまま停車させてください。**
対処方法	オーバーヒート時の処置を行います。

- 水温が急上昇してエンジンが焼き付くことがあるため、エンジンをすぐに止めないでください。
- アイドリングよりやや高めでエンジンを回し、冷却してください。
- 熱湯や蒸気が噴き出してやけどをする恐れがあるため、プレッシャーキャップを絶対に外さないでください。

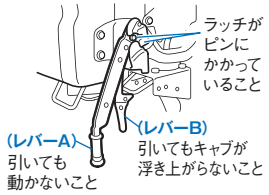
指針が水温計の中央付近まで下がってきたらエンジンを止め、やけどをする恐れがありますので、必ず取扱説明書を確認してから点検を行ってください。

Q このランプが点灯したら・・・？

A キャブチルトウォーニングランプ
キャブチルトのロックが不完全なときに点灯します。

点灯したら	走行できません。
対処方法	キャブのロック状態を確認します。

【キャブロックの確認】



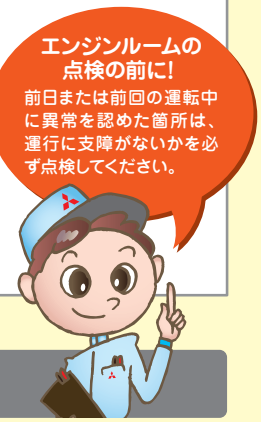
1. ラッチがピンに確実にかかっていること、**レバーA**を引いても動かないことを確認します。
2. **レバーB**を引いても、キャブが浮き上がらないことを確認します。
3. スタータースイッチを“ON”位置にして、ウォーニングランプが点灯しないことを確認します。

警告 ウォーニングランプが点灯した状態では、振動などでキャブが上がる恐れがあるため、走行しないでください。点灯しているときは、再度キャブチルトをやり直してください。

ランプが消灯しないときは、走行せずに三菱ふそうサービス工場に連絡してください。

エンジンルームの日常点検

オイル量の不足やベルトの亀裂は、エンジンの故障や破損という重大な事態に陥る恐れもあるため、忘れることなく必ず行ってください。より安心・安全な運行のためにも、日常点検の徹底を心がけましょう。



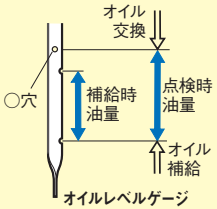
■エンジンルームでの日常（運行前）点検項目

CHECK 1 ★ エンジンオイルの量

エンジン始動前に平坦な場所で点検を行い、適量を補給または交換してください。エンジン始動直後や車体が傾斜した状態では、正確にエンジンオイル量を点検できませんので、ご注意ください。

注意 次のようなシビアコンディションで使用する場合、1日1回、運行前に点検を行ってください。
●車速20km/h以下の低速走行が主体の場合 ●頻繁に（10分以内）エンジンの始動・停止を行う走行が多い場合 ●短い距離（10km以下）の走行を繰り返す場合

1. キャブを上げます。キャブチルトできない車は、エンジン点検口を開けます。
2. オイルレベルゲージを抜き取り、付着したエンジンオイルを布で拭き取ります。
3. 再度オイルレベルゲージをいっぱいに差し込み、静かに抜き取ります。
4. オイルレベルゲージに付着したエンジンオイルの位置が、図中の点検時油量の範囲（下側の切り欠きから○穴の間）にあれば問題ありません。



知識 DPF内部のススを燃焼除去するために、燃料の一部がエンジンオイルに混入することがあります。このため、エンジンオイル量が増えることがありますが、異状ではありません。また、エンジンオイルから燃料臭がする場合がありますが、異状ではありません。

5. 不足時は、エンジンオイルの位置が図の補給時油量の範囲になるまで補給します。エンジンオイルの位置が○穴を越えているときや、著しくエンジンオイルが汚れているときはオイルを交換します。オイル交換時は、必ずメーカー指定のオイルを使用してください。

注意 エンジンオイルの位置が○穴を越えているときは、ただちにオイルを交換してください。そのまま使用すると、**エンジン故障の原因**になり、最悪の場合、意図しないエンジン回転の上昇を招く恐れがあります。

6. 点検後は、オイルレベルゲージをいっぱいに差し込みます。

CHECK 2 ★ ファンベルトの緩み(張り具合)及び損傷

必ずエンジンを停止してから、ベルトの緩みや損傷がないかを点検してください。

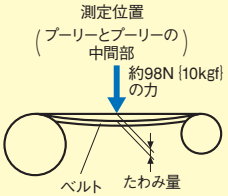
注意 点検時には、ベルトに油脂を付着させないでください。ベルトがスリップする原因になります。

知識 専用工具を使用すると、日常点検の作業負担も軽減できます。詳しくは、三菱ふそうサービス工場へお問い合わせください。

ベルトの緩み(張り具合)の確認

ベルトの緩みや張り過ぎは、オーバーヒートなどの故障の原因になりますので、ベルトは常に正しいたわみ量に調整してください。

1. キャブを上げます。キャブチルトできない車は、エンジン点検口を開けます。
2. ベルトの中央部（図示矢印部）を指で約98N {10kgf} の力で押し、ベルトのたわみ量が基準値内であるかを確認し調整します。基準値や調整方法は、取扱説明書をご覧ください。



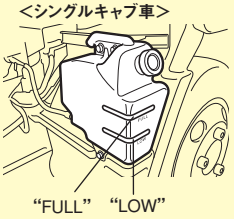
ベルトの損傷具合の点検

ベルトの切断などにより、エンジンが破損する恐れがありますので、亀裂や損傷があるときは早めに交換してください。交換作業は分解を必要としますので、三菱ふそうサービス工場へお申し付けください。

CHECK 3 ★ 冷却水の量

エンジン始動前の冷却水が冷えているときに、冷却水の量を点検してください。

1. リザーバータンク内の冷却水面が“FULL”と“LOW”の線の間にあれば良好です。
2. 冷却水面が“LOW”の線より下の場合は、冷却水の漏れなどないか点検した後に、冷却水を“FULL”の線まで補給してください。



注意 冷却水が異常に減少しているときや、短期間で再び減少するときは、**冷却系統から水漏れが発生**している恐れがありますので、お近くの三菱ふそうサービス工場で点検をお受けください。

★印の点検項目は車両の走行距離及び運転時の状態から判断し、長距離走行、洗車、給油などを目安にして、適切な時期に行います。

■車種・年式により点検方法が異なります。詳しくは各車両の取扱説明書をご確認の上、忘れずに日常点検を行ってください。

後付け電装品などの
電気系統の
トラブルによる

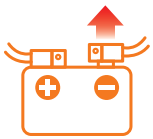
車両火災が増えています。

後付け電装品をご自分で取り付ける際は、電気系統のトラブルを防ぐよう十分にご注意ください。また、少しでも不安な点があれば、車種ごとの専門知識がある指定の工場に依頼するか、お近くの三菱ふそうサービス工場にご相談ください。車両を守るために、細心の注意を払いましょう。

ねじれ配線やヒューズ無し配線が原因で、車両火災が発生した事例も報告されています！

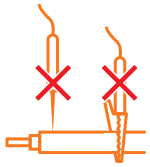
部品の取り付けなどは必ず整備解説書をご確認の上、作業を行ってください。

■ 主な注意点

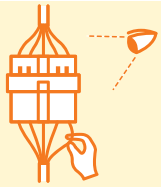


電気系統の整備はショートによる焼損を防ぐために、事前にバッテリーの（－）バッテリーケーブルを取り外します。バッテリーケーブルを脱着する際は、半導体部品を破損する恐れがあるため、必ずスターター・スイッチ及びライティング・スイッチを切ってから行ってください。

断線を防ぐために、コネクターを取り外す場合は、ハーネスではなくコネクターを引っ張ります。ロック式のコネクターを取り外す際は、ロックを外した状態でコネクターを引っ張ります。



テストバーまたは電検ランプ針などにより電線絶縁部が損傷すると、特にシャシーハーネスの早期腐蝕の原因となるため、針刺による電検作業は絶対に行わないようにします。ハーネス、コネクターの修理については、ハーネスリペアーマニュアルに従い、実施します。また、ハーネスリペアーマニュアルに記載された内容以外の修理は、絶対に行わないようにします。



目視点検を行います。

コネクターのピンストッパーが破損していると、コネクター本体は結合できてもターミナル部（オス、メス端子）は結合不完全となり、端子が抜け出てしまう場合があります。ハーネスを一本一本軽く引っ張り、端子がコネクターから抜け出ていないことを確認します。

**車両の性能を維持し、
お車を長くご使用いただくためにも、
三菱ふそうの 推 奨 点 検 をご利用ください。**

交換部品は三菱ふそうの指定部品をご使用ください。

Goodサポート宣言！

お客様の「よかった！」を、もっともっと増やしたいから。

三菱ふそうは、より快適なサービスの提供をめざし、
「Goodサポート宣言！」を全国で実施しております。
お客様が毎日安心してトラックやバスを運転していただけるよう、
メンテナンスや修理など、心を込めてサポートいたします。
どうぞ、お近くの三菱ふそう販売店まで、お気軽にお越しください。

お待ちしてます！

土日営業拡大中

土曜日営業は全国の拠点にて、
日曜日営業は4月から全国の45拠点で始まりました。

夜7時まで受付

受付時間を朝8：30～夜7：00に拡大しました。
（一部拠点を除く）

三菱ふそうの整備工場はココが違う！

- 安全 専門知識と高い技術力。
- 安心 万全のサポート体制。
- 経済的 頼れるメーカー保証。

ホームページ 「三菱ふそうホームページ」で お役立ち情報をゲット！

ホームページでは、三菱ふそうの情報や省燃費運転のポイントなどが紹介されています。リコールやサービスキャンペーンの情報なども更新されているため、日ごろからのチェックをお願いします。

〈三菱ふそうホームページ〉 http://www.mitsubishi-fuso.com/ 三菱ふそう 検索

モバイルサイト 携帯電話でお近くのサービス拠点とAdBlue拠点をラクラク検索

モバイルサイトでは、全国の三菱ふそうサービス工場とAdBlue取扱店を簡単に検索できます。いつでもどこでもクルマの心強い味方としてご利用ください。

QRコードに対応していない機種の場合は、下記のURLを直接入力してください。
http://mmap.mitsubishi-fuso.com/mbl/mftb_m/index.html

ひとくち NAVI

驚異のエネルギー源！

ネバネバを食べて夏バテを防ごう！

夏の暑さで疲労やストレスがたまりそう…。
そんな夏を元気に乗り切るには、「ネバネバ」した食物で体力をつけることがおすすめ。「ネバネバ」（粘り）の成分であるムチンは、疲労回復、たんぱく質の消化・吸収の補助、肌の老化防止などに有効です。特にたんぱく質を無駄なく活用させる働きは、スタミナの増強に効果てきめん。また、胃腸の粘膜を保護してトラブルを予防し、消化不良や食欲不振をなくしてくれます。さらには、気管、目などの表面を粘膜でカバーする働きもあり、風邪やインフルエンザなどの感染症にかかりにくくしてくれます。

「ネバネバ」を多く含んだ食品のなかでも、特に納豆、オクラ、モロヘイヤなどは、ムチンに加えて、ビタミンB1、B2、C、カルシウム、鉄などのミネラル類を豊富に含んでいることも覚えておきたいポイントです。

日ごろから「ネバネバ」をたくさん食べるよう意識して、健康なカラダで毎日のドライブに臨みましょう。

三菱ふそうトラック・バス株式会社
www.mitsubishi-fuso.com

2010年6月 90DXX0003